



立西学校だより 2月号の2

尼崎市立立花西小学校

校長 廣井 尋美

「食べる」ことは「生きる」こと！

「食」という字は、「人が良くなる」と書きます。人が良くなるとは、どういうことでしょうか。食べると、心も落ち着き、身体の中からあたたかくなり満足感に浸れます。食べると、頭も良く働かし、身体も健康になります。知・徳・体。まさしく、本校のめざす児童像「よく考える子、心豊かな子、たくましい子」につながります。

食事の前には、命をいただきます「いただきます」と、感謝の思いを込めて手を合わせます。食事の後には、命をいただきました「ごちそうさまでした」と、感謝の思いを込めて手を合わせます。仏教の教えです。

《好き嫌いせず、なんでも「美味しい」と言いながら食べると、体の身になる》と、小さい頃、祖母や母に言われたことを、今でも覚えています。

お茶碗のごはん粒を残したまま「ごちそうさま」をしようとする《お百姓さんが汗流して作ったお米なのに、ばちがあたる》とも言われました。戦中・戦後の食べるものが十分でない時代を生き抜いてきた年代の方々のことばには、重みや優しさや厳しさがありました。子ども心に、《ばちがあたるから、ちゃんといただかなくちゃ》と思って、置いたおはしを再度手にして、ごはん粒を口に運んだものでした。

時代は変わり、飽食の時代などと言われます。個食・固食・孤食・子食などということばも生まれました。

そして、近年、食育の重要性が叫ばれています。本校でも、栄養教諭と担任が協力して、1年生から食育の授業を行っています。また、2月4日（月）～2月8日（金）は、給食週間として、豆つかみ大会・給食をしっかりと食べよう大会・なかよし学級給食交流会・「朝ごはんを食べよう」ビデオ放映・給食集会など、さまざまな取り組みを実施しました。右面で紹介します。

【PTAからのお知らせ】

立花西小学校PTA広報紙「めだち」が、尼崎市の幼・小・中・高の57校の広報紙の中から「総合最優秀賞」をいただきました。表彰式では、大きなトロフィーをいただいたので、次号の「めだち」に掲載させていただきます。（PTAからのお知らせでした♪）

給食集会 2月5日



いつもおいしい給食を作って下さっている調理師さんに感謝状を渡しました。



1/21~25の1週間、給食を残さず食べたクラスを表彰しました。

なかよし学級交流給食 2月6日



今年度2回目のなかよし学級交流給食。お兄さんやお姉さんと準備をしたり、一緒に食べる給食はいつもと違って楽しく一層おいしく感じられたようです。



豆つかみ大会 2月5日、6日、7日



クラス対抗豆つかみ大会。代表選手5人で30秒間に運んだ豆の合計数を競います。最高記録は、6年生の101個でした。



職員室前には、豆つかみ大会の記録や子どもたちにアンケートをとった「好きな献立ベスト10」を掲示しました。